

「望まない孤独」を解消するための

ひとり親限定 トークアプリ



パチル



- 0 1 組織概要**
- 0 2 我々が向き合うひとり親の問題・市場ニーズ**
- 0 3 解決策・実績状況**
- 0 4 ロジックモデル・セオリーオブチェンジ**
- 0 5 官民連携**
- 0 6 スーパーアプリ構想**

組織概要

組織名	一般社団法人ペアチル
代表理事	南 翔伍
所在地	東京都港区南青山 2丁目2番15号
設立	2022年10月11日
事業内容	ひとり親向けアプリ事業 レスパイトケア事業 チャット相談窓口事業 メディア事業

1. 養育費の不払い問題を解決したく、元ZOZO前澤友作氏に出資をうけ、株式会社小さな一歩で事業統括した経験

日本には未来分も含め約10兆円の養育費の不払いがあります。この問題を解決するために養育費保証サービスを立ち上げました。サービス開始から1ヶ月で1万名ほどの申込があり、養育費不払いがいかに深刻な問題で、問題を抱えている人が多いか実感しました。ただ、申込して下さったひとり親のママさん・パパさんに問題をヒアリングする中で、養育費以外の困りごとが本当に多数あると知りました。代表の南は母子家庭で育てており、子の立場から母の困りごとを知ってはいましたが、日本のひとり親家庭には私の知らない苦勞が多数あると実感し、ひとり親家庭にある養育費以外の問題にも向き合いたいと強く思うようになり、ペアチルの構想を始めました。

2. 一人で私と妹を懸命に育ててくれた母への恩返し

私の母は、私が2歳・16歳の時に2回離婚しており、元旦那からDVされていても私と妹を無償で愛し、懸命に育ててくれました。頼れる人は実母しかいない中、元旦那からひどいことを毎日のようにされている姿をみて、子どもの私は母を励まし、傍にいることしかできず、悔しい想いをしました。「母の助けになるためにはどうしたらよいのか」悶々と考えては何もできない自分を責めることが何度もありました。そんな後悔をはらすため、これまで発達障害・法的被害者の泣寝入り・養育費の不払いなどの社会問題に対して事業をつくってきた経験を活かし、母への恩返しもこめて、母のように大変な想いをしている全国のひとり親の方々のお力になるべく、団体を創ろうと決断しました。

3. 親がハッピーじゃないと、子どもがハッピーになりづらい

現ペアチルのメンバーの一人と、教育学部の大学時代から教育・福祉分野で学生団体をつくり、貧困家庭の子ども・障害のある子どもに向き合っていました。ご縁のあった住職さんにお寺を借りて、貧困家庭の子どもや学校でいじめにあった子どもへの居場所事業を実施していた時、「居場所に子どもが来て、元気になってくれたり、問題が解消されたりしても、家に帰って親との関係が良好じゃないと、また精神が崩れてしまい、居場所に来る」という負のサイクルになっていることに気がつきました。以前は子どもの健やかな成長のために「子ども」に目を向けて活動していました。しかし、このサイクルに気がつき、「親が精神的・経済的・社会的に豊かになり、心にゆとりが生まれないと、子どもの成長を阻害してしまう可能性がある」と実感したため、まずは親の幸福度を高めるための活動が必要だと考えるようになりました。

ビジョン

ひとり親家庭の親子が絶対的幸福になれる社会の実現

ミッション

ひとり親家庭の親子と心理社会的資源を紡ぎ、あらゆる負の連鎖の防止

教育学部で教員免許取得後、デジタルマーケティングのベンチャー企業に就職し、「マーケティング×社会問題」をテーマに社会的企業を転々とした。元ZOZO前澤友作氏からの出資を受け、養育費の未払い問題に挑む株式会社小さな一歩のボードメンバーに参画後、養育費以外のことで困っているひとり親の方々の力になりたく一般社団法人ペアチル創業。



南 翔伍 / MINAMI SYOGO

バックグラウンド

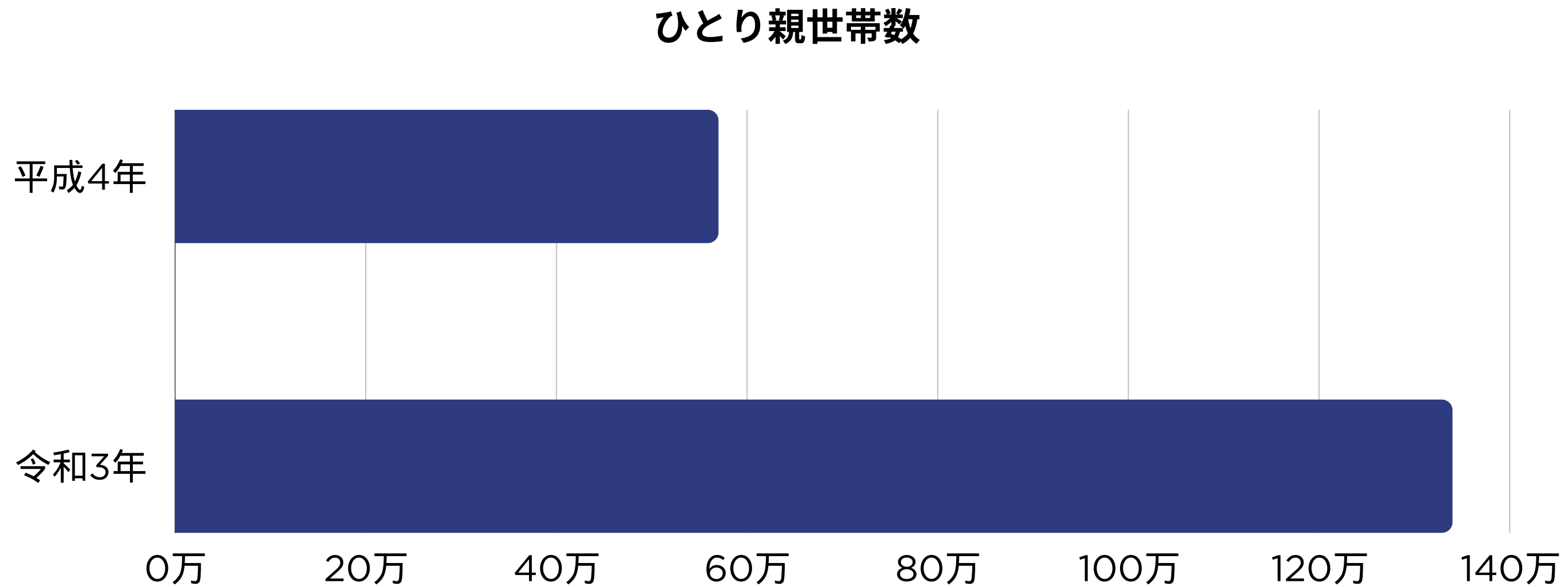
- ・ 相対的貧困家庭に生まれ、父が母と自身を暴力しつづけ、非行に走った(小2~中2)原体験があらゆる社会問題解決に命をつかうと覚悟した根底である
- ・ 大学時代にNPO法人や自身で立ち上げた団体で活動し、収益モデルのある事業を作らないと、どんなビジョンがあっても、社会問題を解決できないと痛感した
- ・ ソーシャルビジネスを展開する事業会社の経営を通して、ソーシャルビジネスづくりの困難さを深く知る

これまでに取り組んできた事業

- ・ 大人の発達障害のある方への就労移行支援事業(発達障害に特化したWebメディア事業)
- ・ 弁護士費用が払えず泣き寝入りしている被害者同士が出会い、集団訴訟ができるプラットフォーム事業
- ・ 行政委託による貧困家庭への学習支援事業
- ・ 養育費保証サービス事業

**我々が向き合うひとり親の
問題・市場ニーズ**

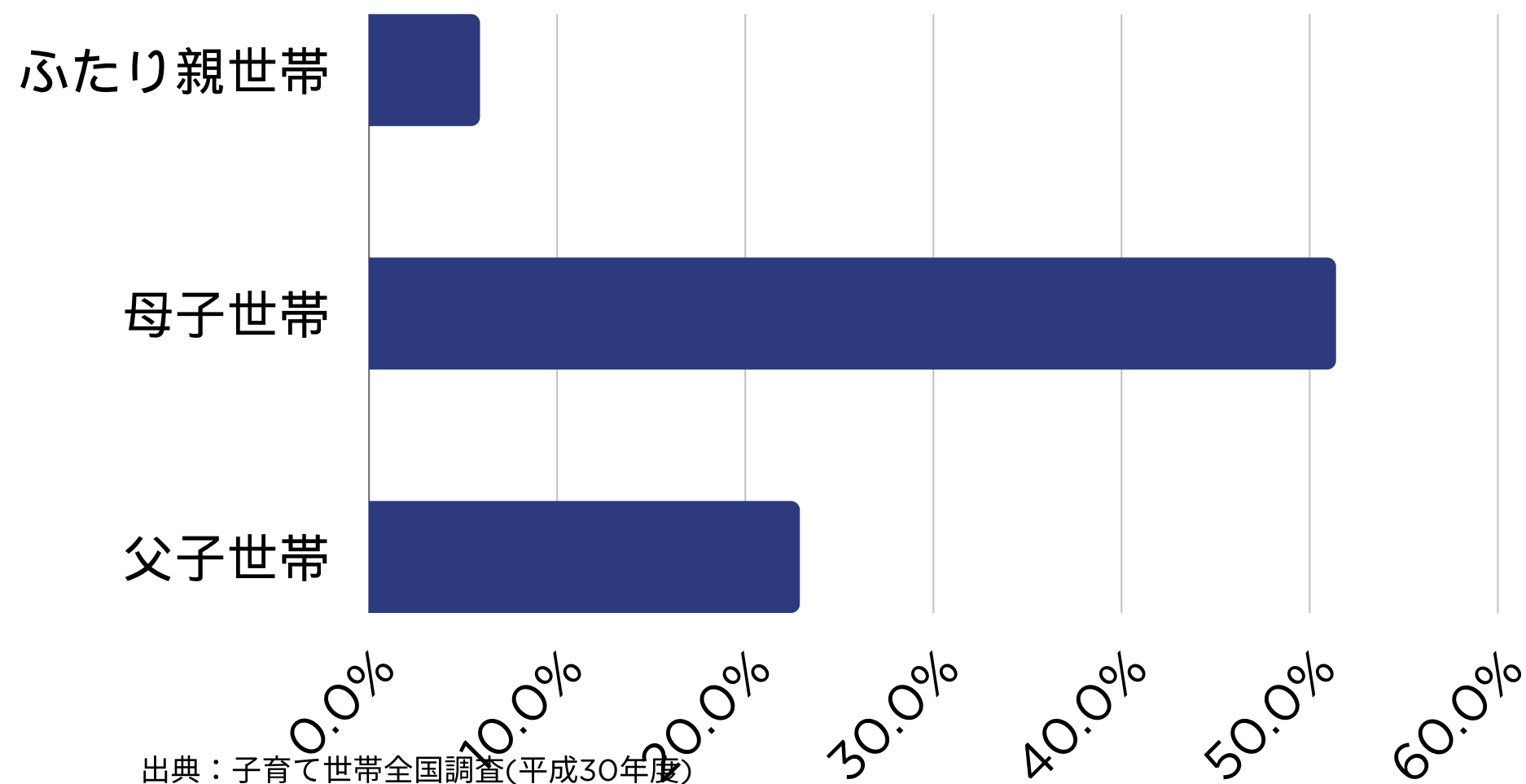
離婚件数は18万4,384組(令和3年)であり、ひとり親世帯数は増加傾向にある



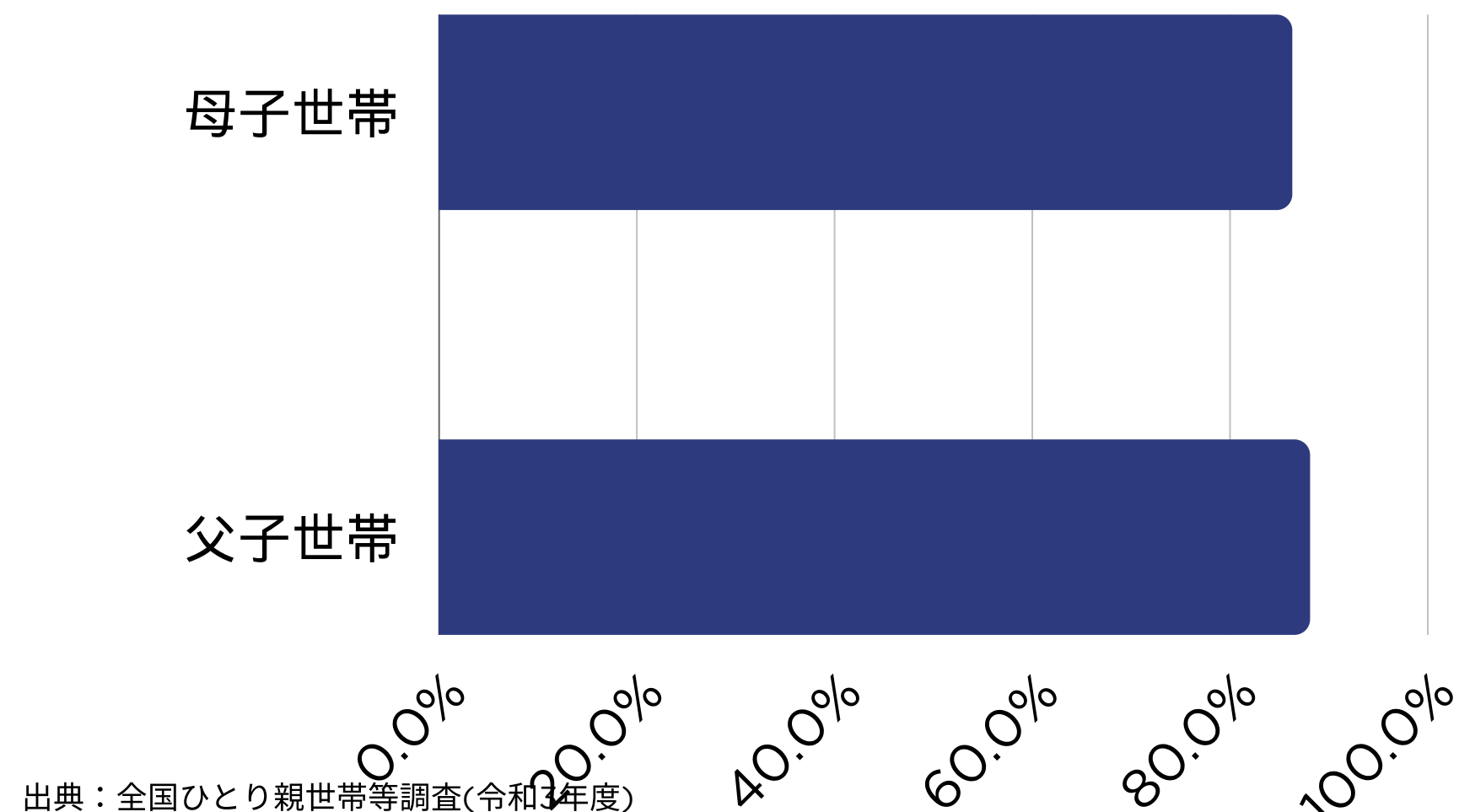
出典：全国ひとり親世帯等調査(令和3年度)、国民生活基礎調査(平成25年度)

ひとり親の就業率85%を超えているものの、貧困率(可処分所得が約124万円未満)が ふたり親世帯と比べて圧倒的に高くなってしまっている 母子世帯の2人に1人は貧困状態である

貧困率

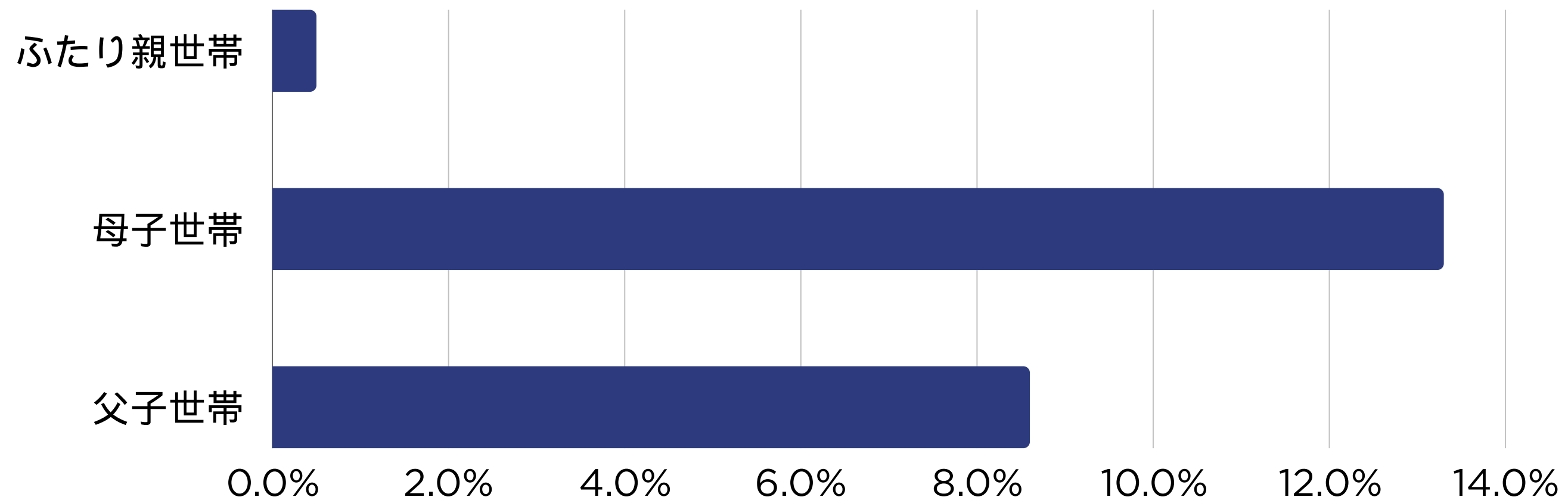


就業率



さらに、可処分所得が62万円未満であるディープ・プア率が母子世帯13.3%、父子世帯8.6%であり貧困状況が深刻である

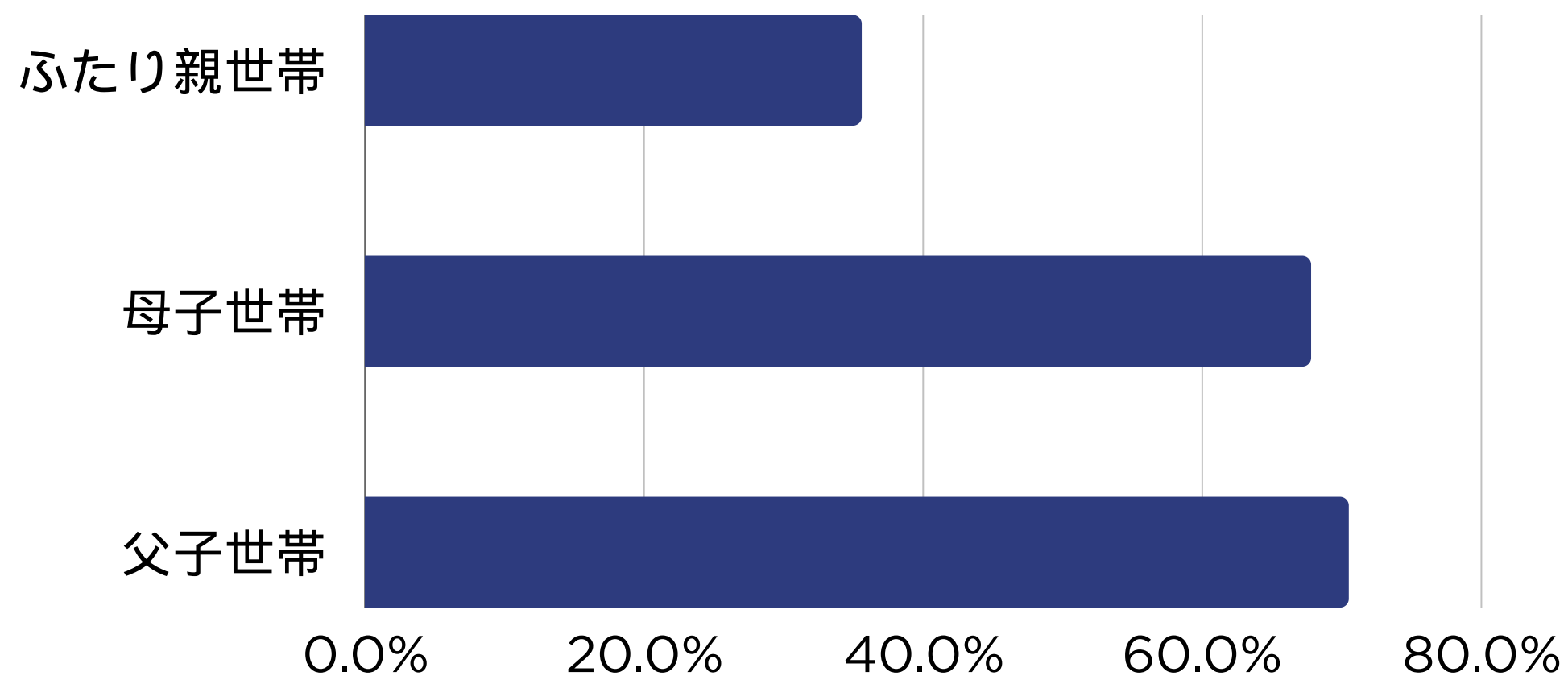
ディープ・プア率



出典：子育て世帯全国調査(平成30年度)

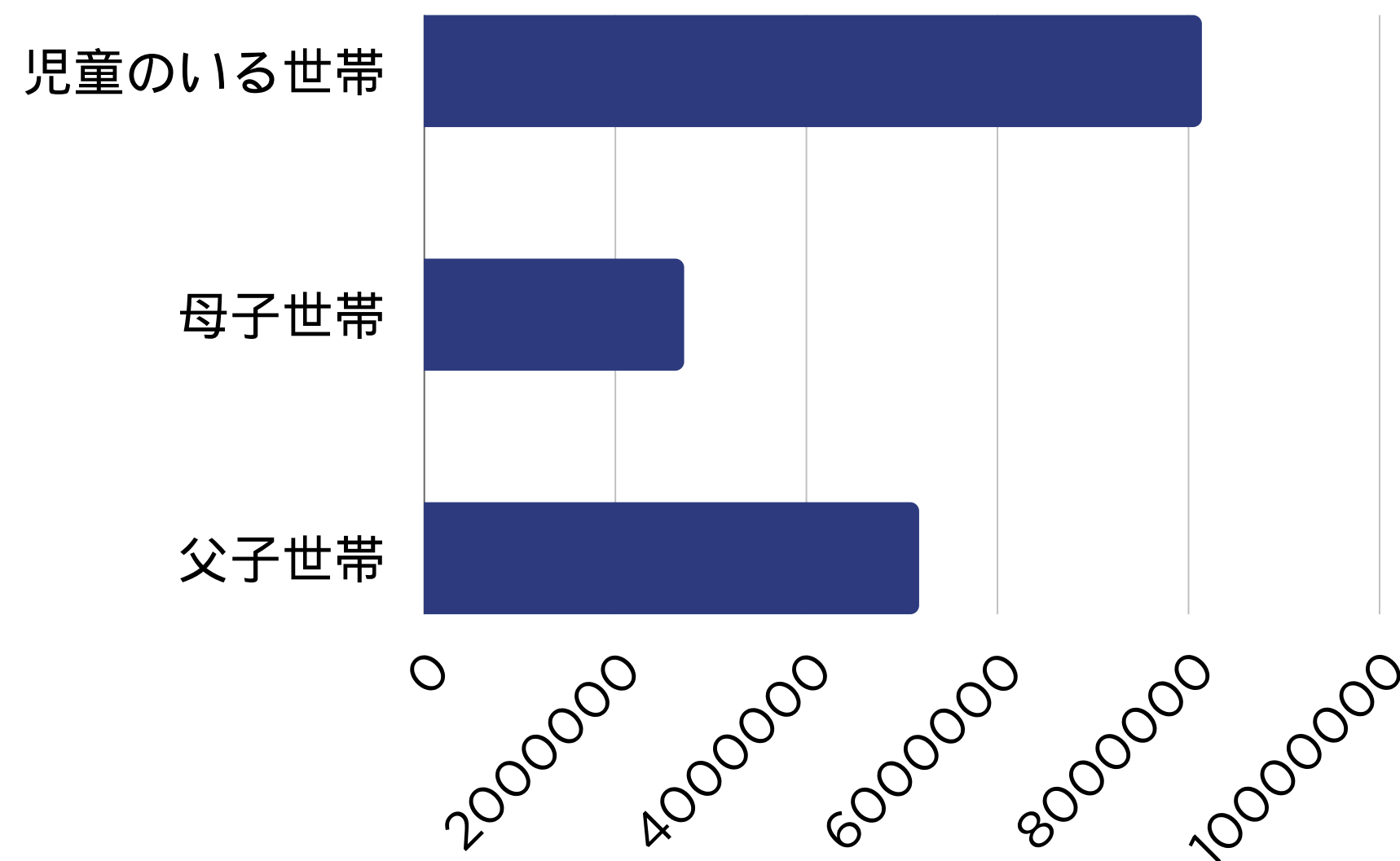
ひとり親世帯はふたり親世帯よりも働いている時間が長いが、年間収入が圧倒的に低い しかも家事なども全てひとりで行わないといけないため「時間の貧困」に陥っている

週30時間以上の就業



出典：子育て世帯全国調査(平成30年度)

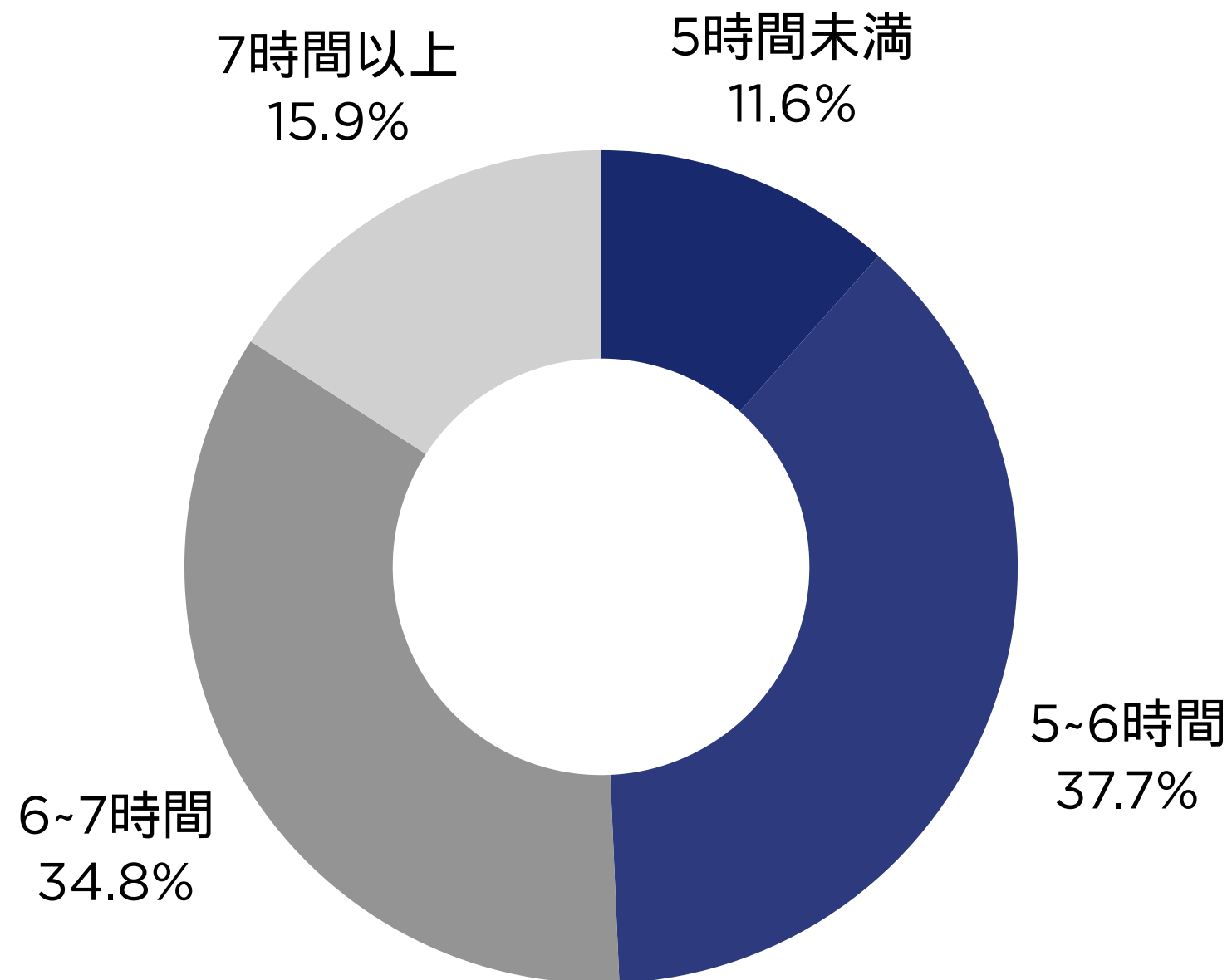
平均年間収入



出典：全国ひとり親世帯等調査(令和3年度)、国民生活基礎調査(令和3年度)

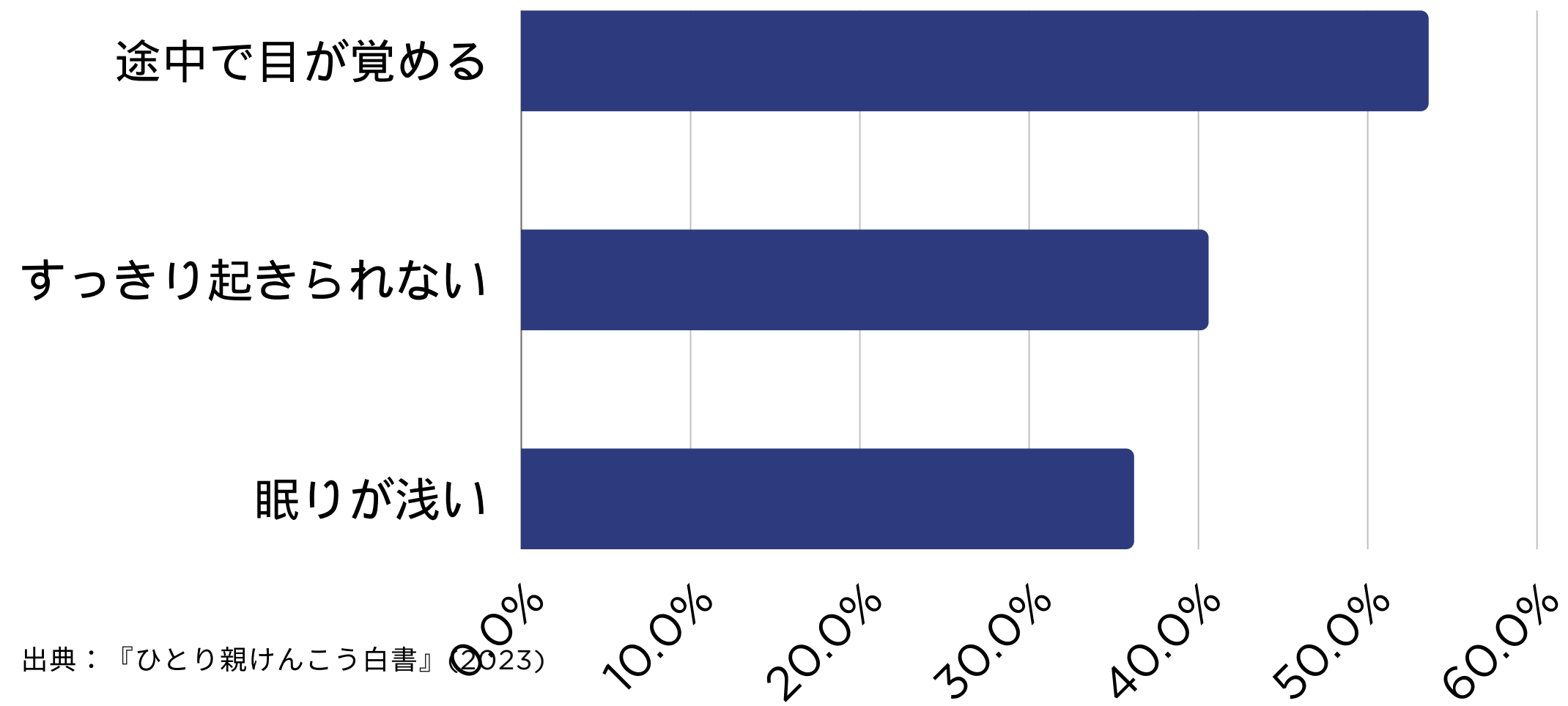
「時間の貧困」の影響もあり、睡眠時間が6時間未満が約50% 多くのひとり親が寝ていても途中で目が覚めるなど睡眠の悩みを抱えており 健康への悪影響が出てきてしまっている

ひとり親の睡眠時間



出典：『ひとり親けんこう白書』（2023）

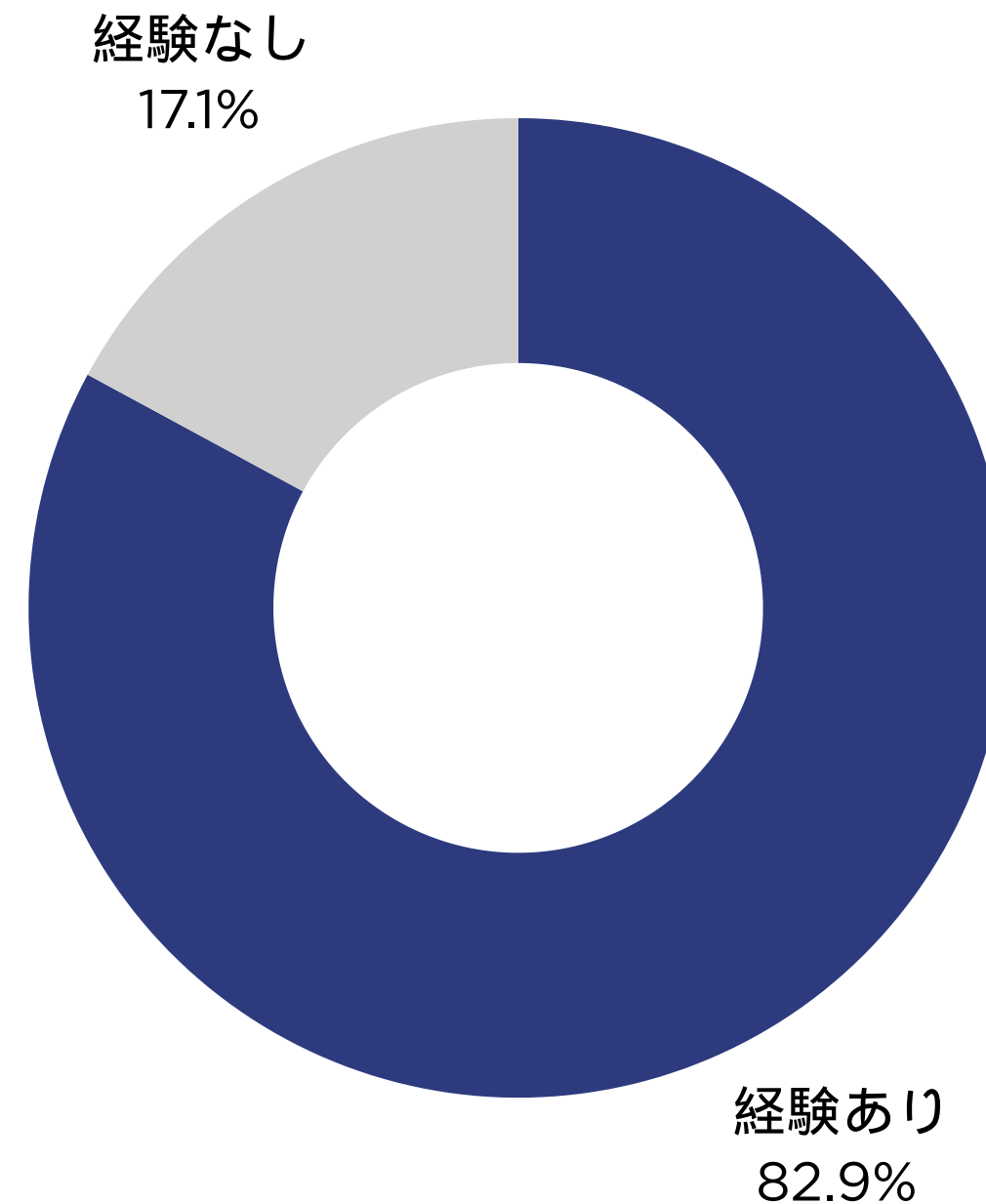
ひとり親の睡眠の悩み



出典：『ひとり親けんこう白書』（2023）

想像しやすいと思うが、**経済的貧困・時間の貧困・睡眠の悩みなどによりメンタル不調を経験したシングルマザーは8割にも及ぶ。**

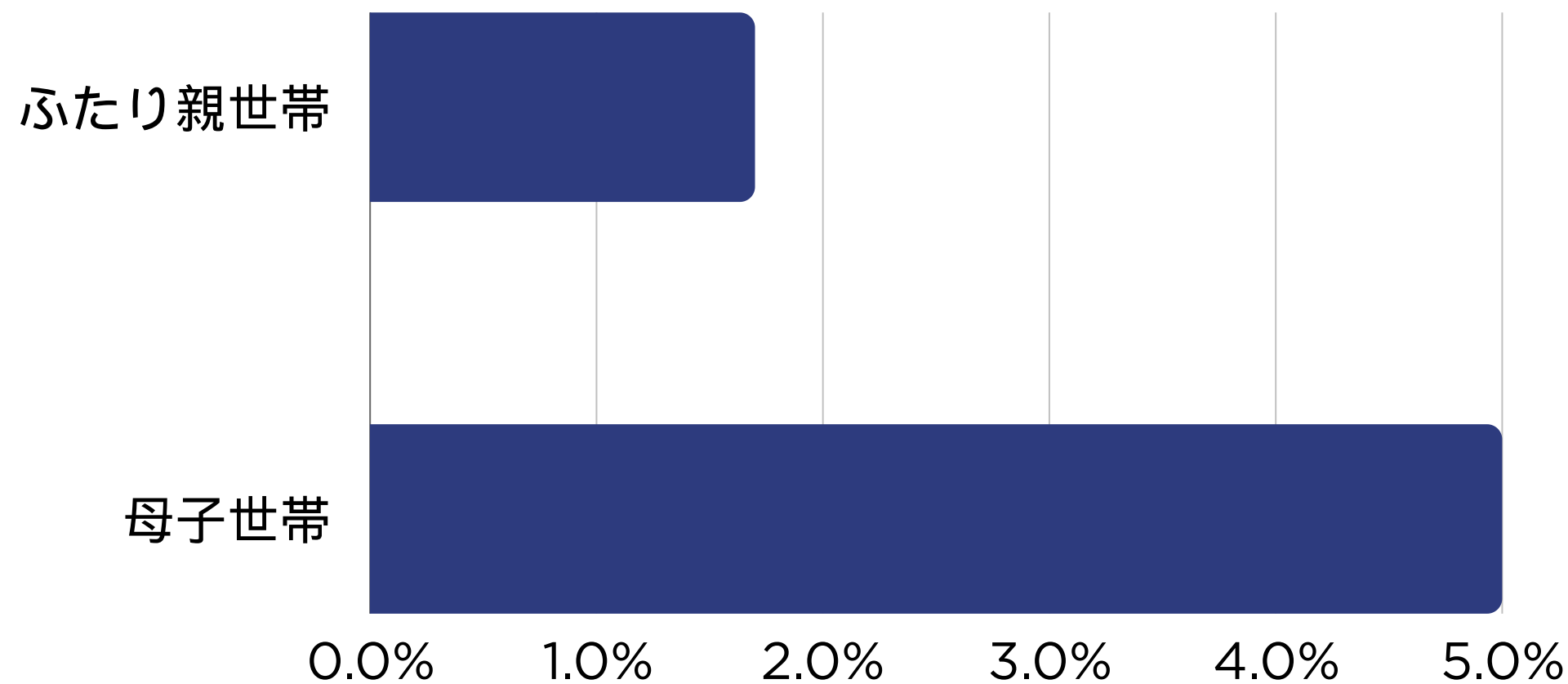
メンタル不調を経験したシングルマザーの割合



出典：株式会社エスママ『シングルマザーのメンタルヘルス実態調査』(2023)

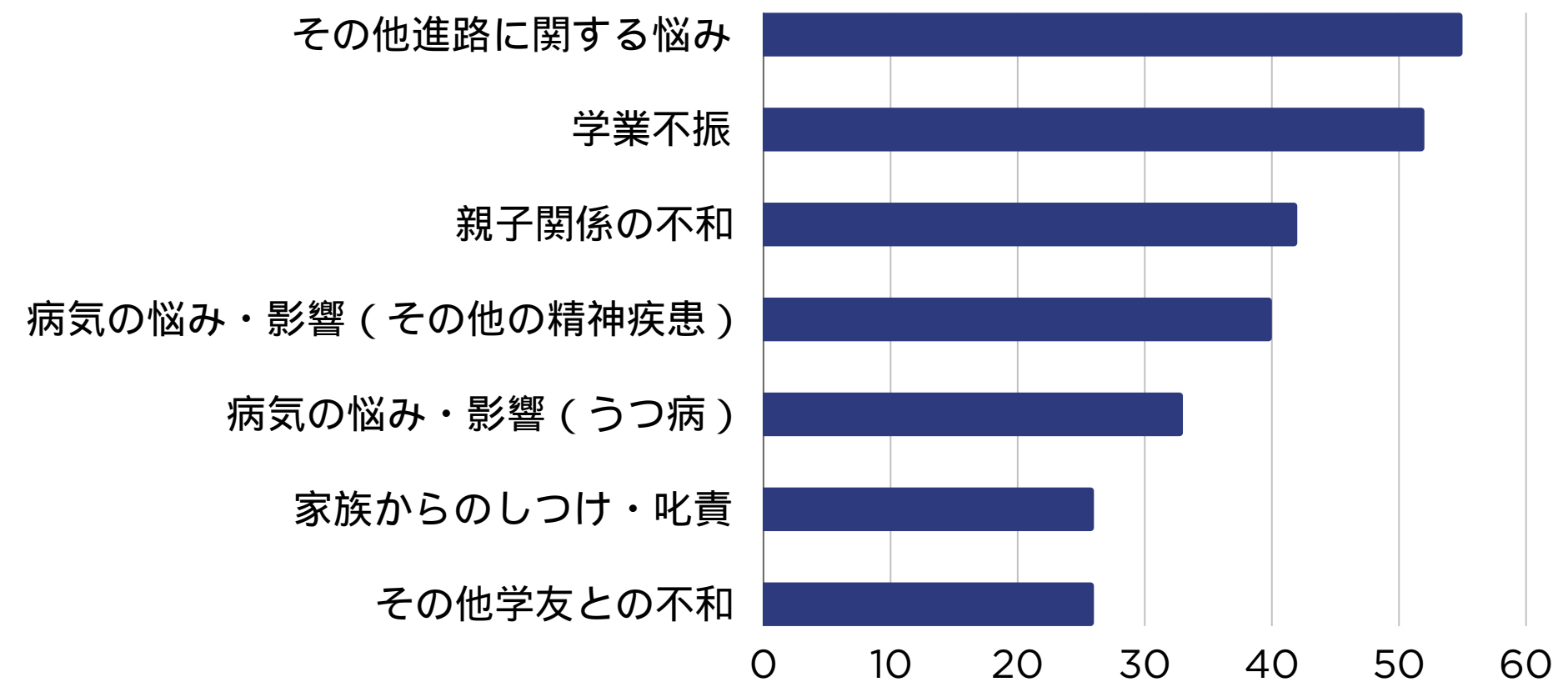
うつ等のメンタル不調の影響もあり、ふたり親世帯と比べて母子世帯の虐待発生率は約3倍も高い。
ひとり親家庭で起きやすい「親子関係の不和」が児童が自殺する原因の上位である。
ひとり親家庭の子どもは虐待・命に関わる事象が発生しやすいのである。

児童相談所に虐待通告された割合



出典：辻京子「児童虐待リスクとしての母子家庭」(2015)

児童生徒の自殺の原因・動機



出典：文部科学省「児童生徒の自殺対策について」(令和4年)

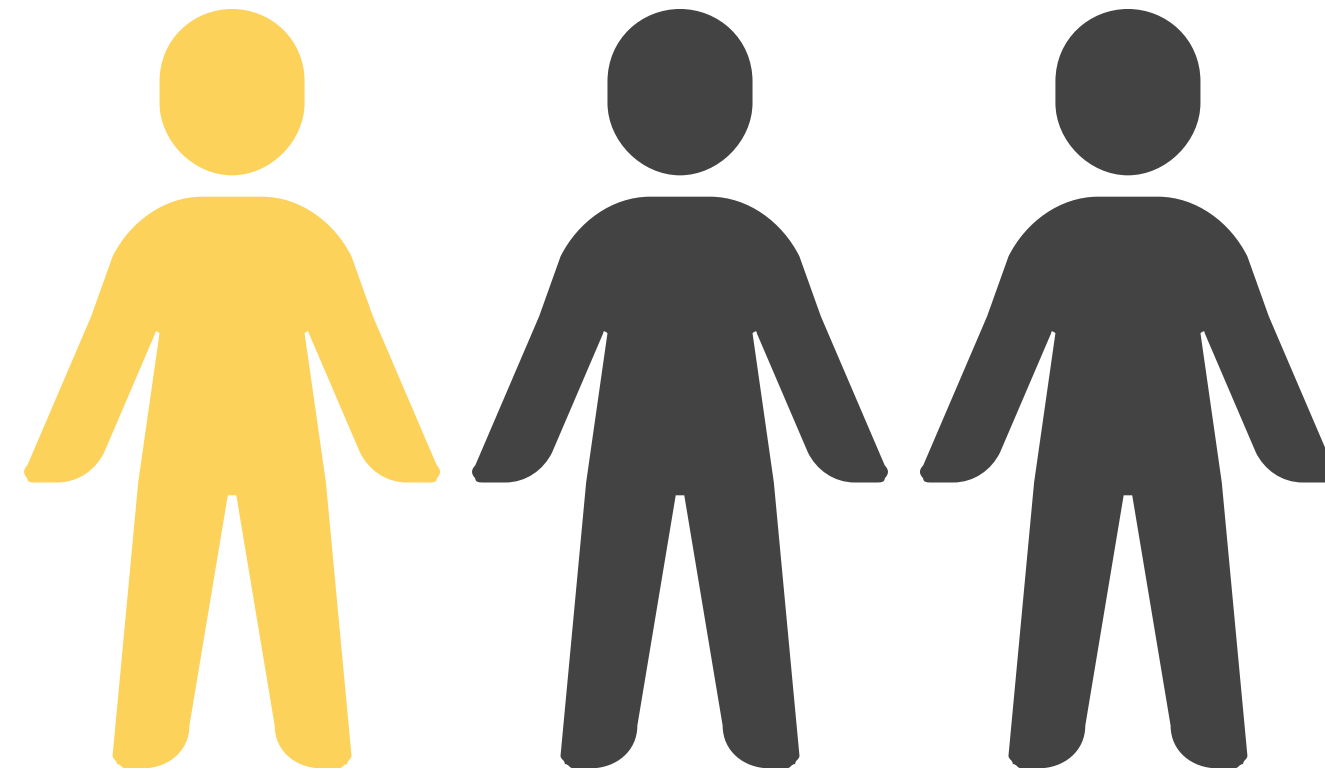
ここまで見てきた通り、
日本の多くのひとり親は所得・時間・精神の貧困に陥っている。

しかし、あらゆる貧困だけがひとり親を苦しめる要因ではない。

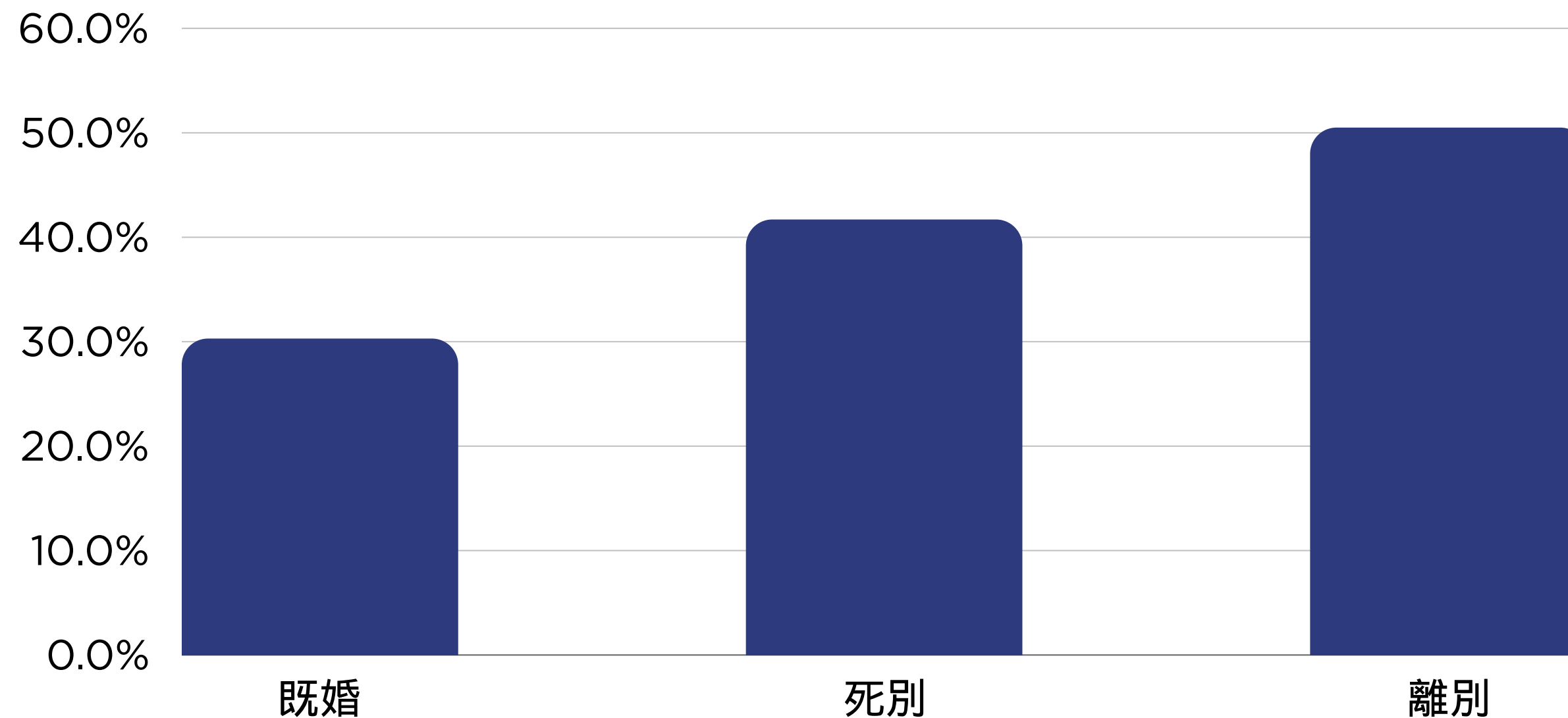
他の深刻な問題は「望まない孤独」である。

これまでのひとり親研究では「貧困」にフォーカスしたものが多かった。近年は「貧困」以外にも深刻な問題だと考えられている「望まない孤独」が注目されている。日本は世界で2番目に孤独・孤立対策担当大臣」を任命し、孤独の解消に向けて積極的に動いている。

**約3人に1人のひとり親が親同士の交流、頼れる相手がない現状。
身近に気軽に相談・交流できる人がおらず、孤独感が増加している。**



浮気などによる離婚、自殺などによる死別で配偶者がいないと 既婚者に比べて孤独感スコアが高くなってしまっている



しかも孤独はあらゆる精神的・身体的なリスクをもたらす。 「望まない孤独」は深刻な社会課題であると強く主張する。

孤独による精神的・身体的なリスク①

孤独は毎日たばこを15本吸うことに匹敵するほどの健康被害をもたらす。

※Holt-Lunstad, J., Smith, T. B., & Layton, J. B.(2010).Social relationships and mortality risk:A meta-analytic review.PLoS medicine, 7, e1000316

孤独による精神的・身体的なリスク②

孤独が死亡リスクを26%高める

※Holt-Lunstad, J., Smith, T. B., Baker, M., Harris, T., & Stephenson, D.(2015).Loneliness and social isolation as risk factors for mortality.A meta-analytic review.Perspectives on Psychological Science, 10,pp.227-237.

孤独による精神的・身体的なリスク③

孤独が冠動脈疾患発症リスクを29%高める

※Valtorta NK,Kanaan M,Gilbody S, et.al.(2016).Loneliness and social isolation as risk factors for coronary heart disease and stroke:systematic review and meta-analysis of longitudinal observational studies.Heart,102(13),pp.1009-1016.

孤独による精神的・身体的なリスク④

うつ病の発症リスクを上昇させる

※Cacioppo JT et al.(2006).Loneliness within a Nomological Net:An Evolutionary Perspective,Journal of Research in Personality.40,pp.1054-1085.

孤独による精神的・身体的なリスク⑤

自殺者の心理的特徴の一つとして強い孤独感が挙げられている

※長田恭子、長谷川雅美(2013)「自殺企図前後のうつ病者の企図前・後における感情および状況の分析ーナラティブ・アプローチによる語りから」日本精神保健看護学会誌、22(1),pp.1-11.

たまたまひとり親と出会えたとしても、
あらゆる要素の掛け合わせパターン(境遇)が異なると
ひとり親同士であっても相談・励まし合える関係になりにくい

親子の年齢

ひとり親になった経緯
(離婚、死別、未婚)

親子の障害の有無

実親からの支援有無

養育費の有無

面会交流の有無

子どもの人数

年収

就業形態

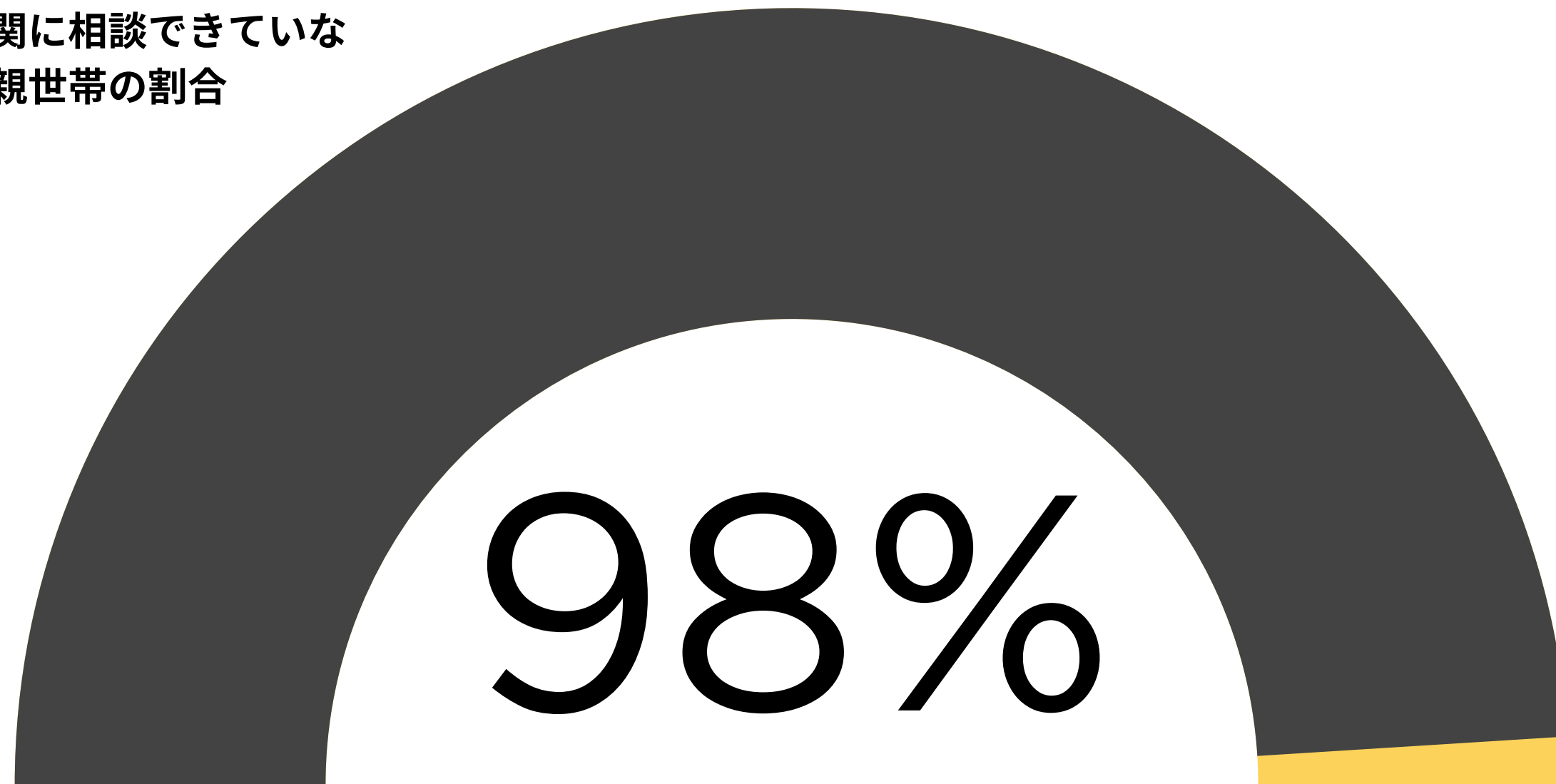
法的手段の経験有無

居住地

病気の有無

ひとり親の経済的な貧困や孤独を解決し得るソリューションである
公的機関やひとり親支援の非営利団体が増えてきた。
しかし約100人に2人(2%)しか公的機関に相談できていない、
NPO法人に相談できているのは約1,000人に1人(0.1%)である。

公的機関に相談できていな
ひとり親世帯の割合



数百名のひとり親への調査を進め、既存のひとり親向け相談・コミュニティの解決策では
 気軽に参加・相談できるものがなく、孤独を解消しきれていない

	自治体等が運営の リアルコミュニティ	Facebookグループなどの ひとり親オンライン コミュニティ	Twitter等のSNS・ 掲示板サイト
参加のしやすさ	×	○	◎
参加後の活用率(会話率)	○	×	△
誹謗中傷のリスク	◎	◎	×
求める人との出会える率	△	△	○
悩み解消率	○	△	△

**家事・育児・仕事のワンオペ化により
ひとり親は情報・人・社会資源から孤立し
望んでいないが孤独になってしまう構造がある。**

**経済的・精神的・身体的困難から脱却するための
気力を維持しにくい、適切な情報を得難い、
励まし合える仲間がない。**

**このような状況で支援プログラムだけを
用意しても現状解決にはならない。**



解決策・実績状況

経済的な困難の背景にある「望まない孤独」を解消するべく ひとり親の声から生まれたのがトークアプリ「ペアチル」(完全無償)



共通点の多さのレコメンドと
詳細条件の検索機能によって
似た境遇の人を探しやすくする



審査通過したひとり親だけが
使っているからこそ安心して
自己開示しやすい空間



使いなれているUIのトークルーム
によって相談・励まし合いをしやすく

いつでも・どこでも 簡単に 安心して 似た境遇の人に 相談・気持ちを吐き出せる

①

②

③

④

⑤

①アプリケーションだからこそ、時間・場所に左右されない

②シンプルなUI設計だからこそ、迷わずに使える

③本人確認した、ひとり親だけが使っているからこそ誹謗中傷のリスクが最小限である

④詳細なプロフィール情報と自由に設定できる境遇タグで簡単に似た境遇の人を探せる

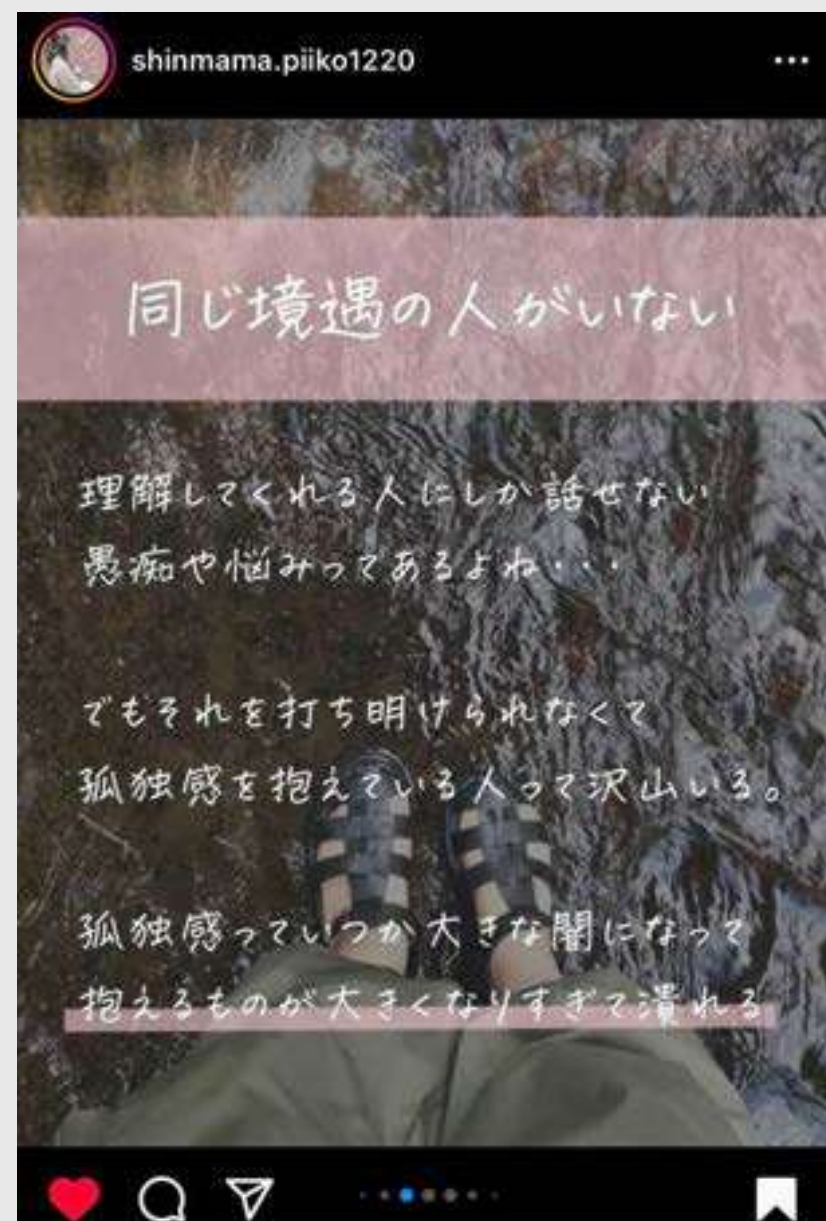
⑤LINEのようなトークルームを自由につくれ、相談したいことなどを会話できる

→ペアチルは唯一無二の価値を提供しているひとり親向けのソリューションである

ひとり親インフルエンサーの方にも評価いただきSNSで話題に ひとり親の方に独自の価値を実感してもらえている



フォロワー：6,609



フォロワー：8,542

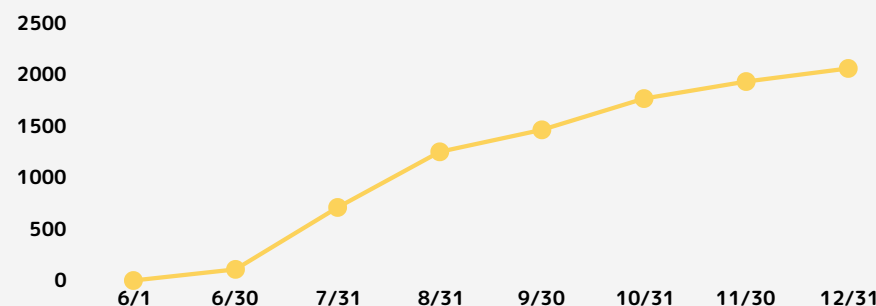


フォロワー：12,000



フォロワー：7,206

DL数 **2,400**件



累計トーク

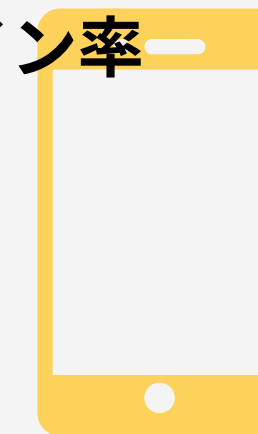
32,519通



※2023/6/1-2023/12/31

1ヶ月あたりのログイン率

85 %



47都道府県

全ての
ひとり親が
利用中



1人あたりの
平均エンゲージメント時間

1時間54分



1人あたりの
アプリ起動回数/月

69 回



月に100通~1,500通のやりとりを
しているひとり親が多数



多様なエリア・年代の方々から好評価！



Kさん(パパ30代 神奈川県)

学校でママ友の輪に入っていけなかったので、ペアチルで似た境遇のパパさんと子育てや仕事のことを話せるのは、気持ちが明るくなれる。ちょっとした時に雑談できるのが嬉しい。



Oさん(ママ50代 茨城県)

子どもが成人するまで懸命に育ててきた経験が若いママさんやパパさんにとって役に立てたらと思って登録した。

自分でも役に立てることがあるんだと知れて、生きていて楽しいなって思える。



Tさん(ママ30代 兵庫県)

相談や愚痴を言っても、経験のない人にとっては他人事。例え親友でも、本当の辛さは理解出来ないし、結果、言っても無駄だと感じることもあった。だから、ペアチルで辛さを分かり合える人と話せるのは救われる。

企業提携によりひとり親の方に定価の最大90%OFFのネットショップ・サービスのクーポン券なども提供。少しでも家計の負担を減らすことを目指す

アプリ会員限定で食料品・日用品などを最大90%OFFで買えるEC



サービスのクーポン券、専門家への相談などアプリ会員限定の特典も用意



民間や内閣の子育て・福祉の有識者に評価され 栄えある賞をいただけるようになってきた

BabyTech® Awards Japan 2023
保護者支援サービス部門で大賞



大賞受賞ページ：https://babytech.jp/2023/10/bta2023_winner/

内閣官房 デジタル田園都市国家構想
「Digi田甲子園2023」
審査委員会審査TOP10にランクイン



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

ランクインページ：<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/koshien/index.html>

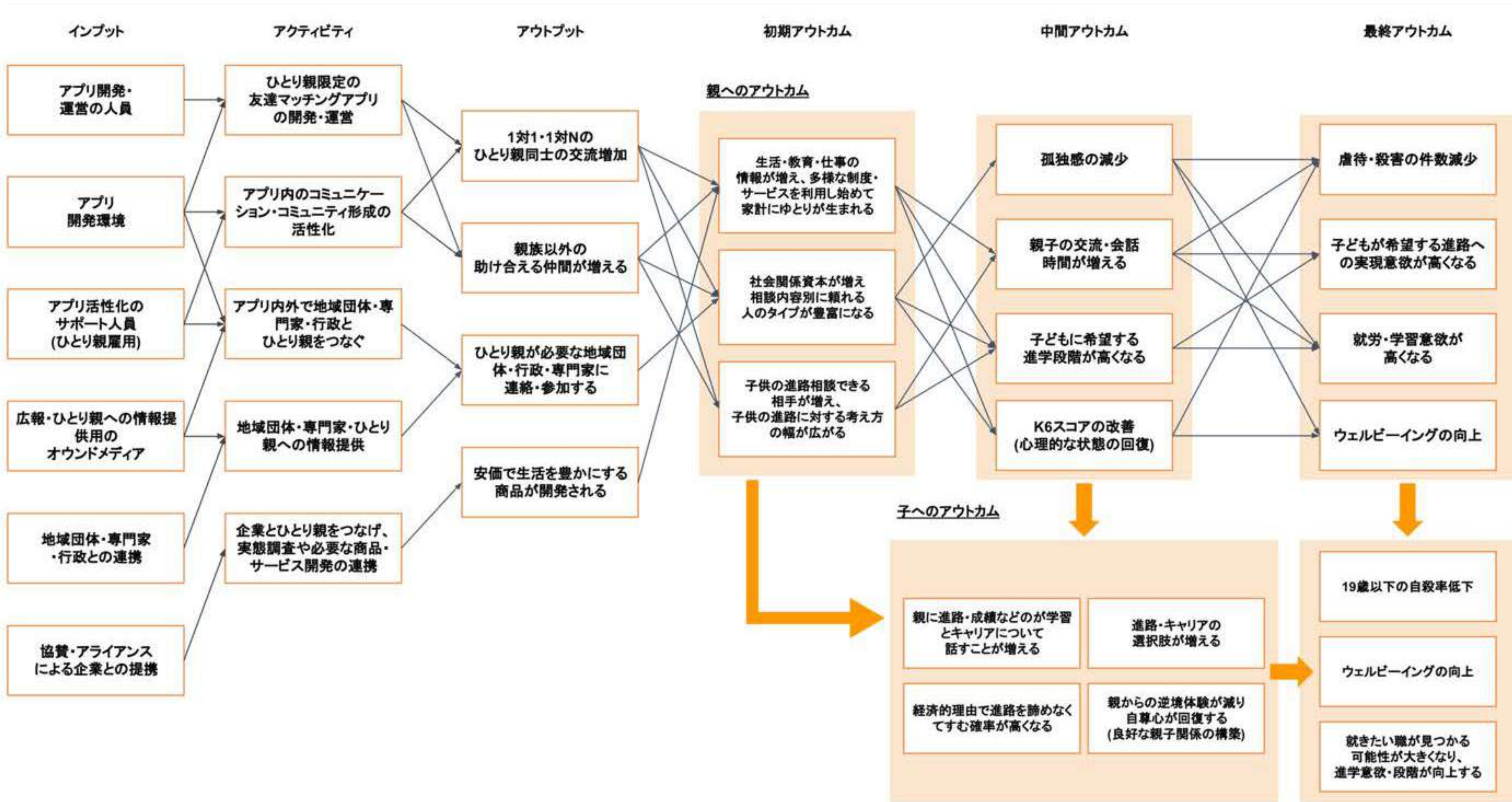
UDC2023全国1位



受賞ページ：<https://urbandata-challenge.jp/news/udc2023prize>

ロジックモデル・ セオリーオブチェンジ

ひとり親の「望まない孤独」を解消することによって、子どもの貧困連鎖を断ち切ります



ひとり親の「望まない孤独」を解消することで親子の絶対的幸福の実現を目指す

Bad Cycle

親の子どもに対する態度・接し方が悪化することで、子どもの自己肯定感が減少

仕事・子育て・家事で忙殺され、スキルアップ・就労の時間が減る
(経済的困窮)

家庭が受けられる子育て・生活支援の機会減少

孤独から抜け出せない世界

周囲からの不理解・親の心身の余裕不足
(精神的困窮)

支援団体や頼れる友人とのつながりの質と量が低下
(望まない孤独)

Good Cycle

親の子どもに対する態度・接し方に余裕が出ることで、子どもの自己肯定感が向上

問題解決の時間が早くなり、子どもや自分のことに時間を使える

境遇が似ている方と雑談・相談によって、親の心に余裕が生まれる

頼り合うことで孤独がない世界

問題を解決するための支援情報・子育てノウハウを得る機会増加

支援団体や頼れる人とつながる行動を取りやすくなり、繋がりの質と量が向上する



官民連携

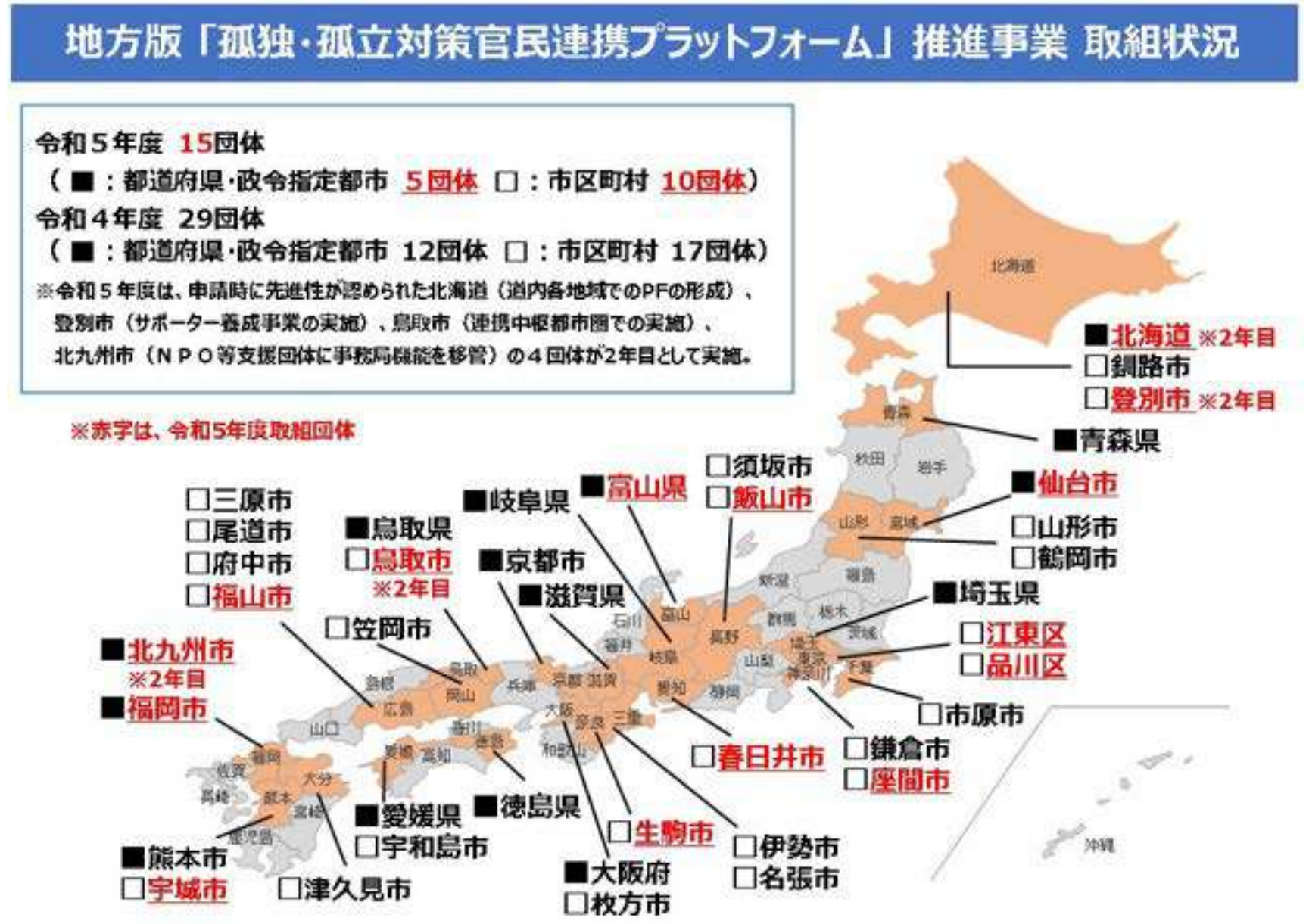
審査を通過し、内閣官房「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」
にペアチルは参画し、ひとり親の孤独解消に向けて官民連携を強化



孤独・孤立対策 官民連携プラットフォーム

わたしたちは、孤独・孤立対策に係る取組、
又は活動への協力や支援をしております。

地方版「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」もあり 徳島県,埼玉県,北海道,千葉県市原市,尾道市,滋賀県とペアチル連携



引用元：https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/kodoku_koritsu_dantai/index.html

内閣府 地方創生推進事務局主導の 地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームにも参画

地方創生 SDGs
官  民 連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

総務省主催の「ICTスタートアップリーグ」に採択 大規模言語モデル活用の研究開発を共同実施

ICT STARTUP LEAGUES

支援機関ネットワーク FAQ メールアドレス登録 問い合わせ

ICT
STARTUP
LEAGUES

2023年度採択者を発表しました。

日本の未来を支える技術に
支援と競争の場を提供
ICTスタートアップリーグ

本研究開発は情報収集の時間・スキル・気力が不足していることによって ひとり親間の情報格差が拡大している状態を解消することがゴール

時間

家事・子育て・仕事のワンオペ化によって
情報収集する時間が不足している

スキル

オフィスワークの経験がない、低学歴、ITリテラシーが低い
といったひとり親が少なくなく、情報収集のスキルが不足している

気力

家事・子育て・仕事のワンオペ化によって
疲弊しているため情報収集する(文字などを読む)気力がない

ひとり親のニーズに合わせたAI回答機能を搭載した掲示板サービスを開発する
子育て・仕事・家事などの質問に対して
AIと他のひとり親が回答して情報収集できるサービス



LINEヤフー社が「Yahoo!知恵袋」で同様の機能を試験提供

ペアチルはLINEヤフー社と以下の点で異なる

- 1.ひとり親仕様の学習データ・プロンプトを利用する
- 2.ひとり親以外の人からの誹謗中傷リスクが少ない
- 3.家計の手助けとなるインセンティブが付与される

【Yahoo!知恵袋】生成AIによる回答を表示する「AI回答機能」を試験提供

回答が見つからない質問を減らし、回答のバリエーションもより豊富に。「悩み相談」「歴史」の2カテゴリから導入し、提供カテゴリは順次拡大予定。

LINEヤフー株式会社

2023年11月17日 10時02分



<https://chiebukuro.yahoo.co.jp/topic/ai/answer.html>

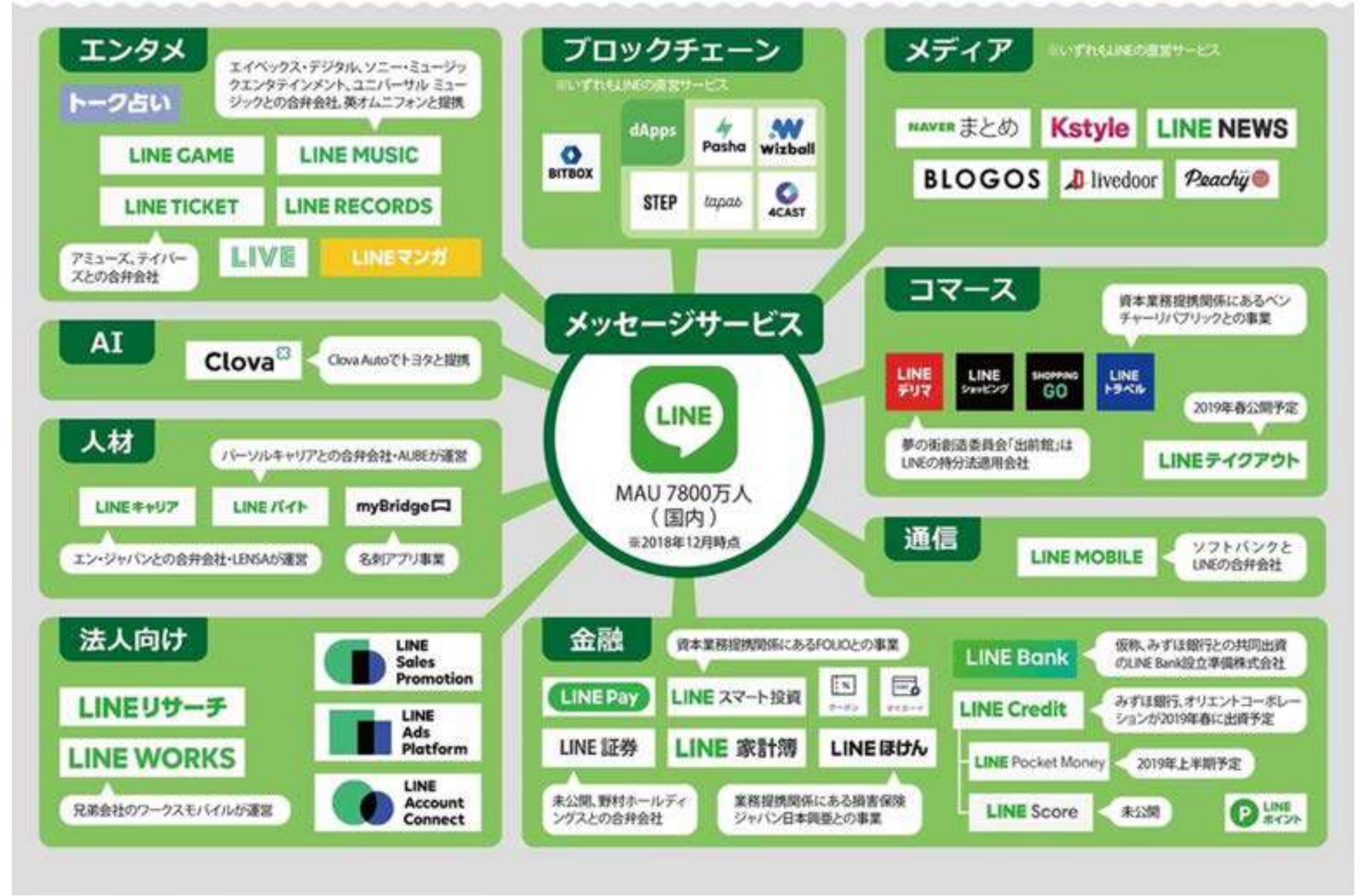
LINEヤフー株式会社（以下、LINEヤフー）が運営する知恵共有サービス「Yahoo!知恵袋」は、OpenAIの生成AIを利用し、ユーザーから投稿された質問に対して生成AIによる回答を表示する「AI回答機能」（以下、本機能）の試験提供を開始しました（※1、※2）。



出典：<https://prt看times.jp/main/html/rd/p/000000102.000129774.html>

スーパーアプリ構想

【2019年初頭版】主なLINE経済圏



LINEはメッセージサービスからスタートし
 コマース・人材・メディアなど多角化させ
 スーパーアプリ化

ペアチルは「ひとり親版LINE(スーパーアプリ)」を目指す

特典

会員限定のサービス・商品のクーポン券等の特典配布

自社EC

日用品・食品・アパレル品・化粧品などの自社格安ネットショップの展開

トークサービス



マーケティング

スーパー等のチラシ、アプリ・Webサイトでのネット広告

スキルUP

高等職業訓練促進給付金等の指定講座されている企業・専門学校等への送客

コンテンツ

自社メディアを通じた転職・家計・子育て等で役立つ記事・動画コンテンツの配信

専門家

弁護士などの士業、ファイナンシャルプランナー、カウンセラー等への送客